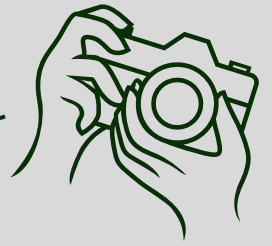




～隊員ワールドスナップ！ボツワナ編④～



2024年度1次隊 三浦舞子さん



住民相談会での気づき

小売店の営業ライセンスを取得できるブースで手伝っていた際の1枚です。少し不安げな住民の顔が伝わるでしょうか。この国では、失業率が高く働き口も少ないため、自営業を試みる人が多いです。ただ、自営業って簡単ではありませんよね…許可証をぼんやり眺める姿が印象的でした。

つよい味方！チームJapan

困ったらご近所さん、そしてチームJPANA！その道のエキスパートが揃っているのので、いつも助けられます。ちなみに、本間さん（写真左）は旭川から派遣された隊員さんです。まさかこんなところで顔見知りになれるとは…全国に知人が増えていくのも、うれしい特典です。



JICA海外協力隊へ
応募を検討している方へ

「きっかけひとつ」と言われても…

「アフリカだな～」「思っていたのと違う!」「物好きだな～」など、なにか伝わるものがあれば幸いです。個人的な話ですが、JICA海外協力隊へ応募する時の私は「異国で自分に何かできるのか?」「自分の身になるのか?」「帰国後のライフプランって…」と、広告にある“きっかけひとつ”では目をそらせないような不安に満ちていました。

派遣されて今、来てみた人にしかわからない景色があるのだな、と感じています。最初に任地に来た際は、「とんでもないところに来てしまったのでは?!」と思いましたが、慣れてくると、異世界での日々はたくさんの発見と面白さに溢れていて、思い切って来た甲斐があったな～と実感しています。

ほんの少しでも興味があれば、思い切って応募してみるのも良いのではないのでしょうか^^



～隊員ワールドスナップ！ボツワナ編③～

地方では車代わり
ドンキーカート！



2024年度1次隊 三浦舞子さん



ボツワナの家屋、今むかし

三角屋根の家は昔ながらの家屋で、四角い家は現代の家屋として地方でよく見かけます。コンクリートブロックを積んで塗装し、トタン屋根を重い石で押さえるスタイルが主流のようです。国土は日本の約1.5倍ですが、人口は270万人程のこの国では、各自の敷地が広いことも特徴です。

移動はトヨタのハイエース

公共交通はバス、タクシー、コンビと呼ばれる乗り合いハイエースが主流です。最も身近な手段はコンビで、料金は7プラ（約77円）です。出発時の車内は、超満員！バス停はありますが、どこでも乗り降り自由なので、歩くのが嫌いなボツワナ人は数メートル単位で停めます。(笑)



都会は想像以上

みなさんが思い描くアフリカは、どんなイメージでしょうか？初めてアフリカに来た私は、度肝を抜かれました。ただ、首都と地方の差は非常に大きいです。おしゃれなカフェやレストランもある首都。首都から1時間離れた私の村では、毎食火をおこしてご飯を作る家庭がほとんどです。



とびらの先は満天の星空

外の空気をすいたいな～と思い、一歩出たら、あまりに星がきれいで驚きました。大きな道路以外には街灯がなく、少し村はずれに住んでいるため、空一面に星が見えます。いつか村の子たちが都市部に行ったら、故郷の星空に感動する日が来るのかな～と思いながら眺めていました。





～隊員ワールドスナップ！ボツワナ編②～



2024年度1次隊 三浦舞子さん



制服が必要なわけ

小学生から制服を着ています。デザインが学校により異なり、落ち着いた色合いがステキです。同僚に「日本の小学生はあんまり制服ないよ」と伝えたところ、「この国では必ずあるよ。家庭の貧富の差が大きいから、全員同じものを着る必要があるんだ。平等さが大事だからね」とのこと。



伝統的な衣装は青色

結婚式での1枚です。参列する女性はお祝いの際に青色のスカートと羽織りを身に着けます。きれいな青で、おしゃれですよ。男性陣はスーツを着るのが基本のようです。ボツワナの色といえば、国旗と同じ青色。レティシと呼ばれる伝統的な模様は落ち着きがあり、とてもステキですよ。



ダンスのスキルは小さいころから

いつも遊びに来る近所の子たち。何をして遊ぶのか聞くと、基本的にダンスが始まります。輪の中心の子が代わる代わる踊り、周りの子が歌っていました。ボツワナは、複雑なステップダンスが好まれるようです。腰の入った踊りと細かい足の動きには、いつも驚かされます。

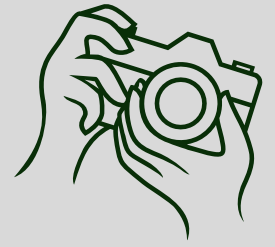


お祭り＝ダンス

独立記念日を祝うお祭りでの1枚。イベントのほとんどが歌とダンスで構成されています。国旗をモチーフにした服を、子供も大人も身に付けており、国民全員でこの日をお祝いする姿が印象的でした。「過去に紛争や内戦もなく平和なことが誇りだ」と知人が母国愛を語っていました。



～隊員ワールドスナップ! ボツワナ編①～



2024年度1次隊 三浦舞子さん

魅力は、「ひと」

よく笑う人、シャイな人、ガツガツくる人、全員に共通しているのは、優しさだと感じます。すれ違った人には誰にでも挨拶をし、おしゃべり好きな人が多いです。近くに人がいなければ、すぐに電話。とにかく、ずっと話しています。毎日笑顔で出勤できるのは、写真の中の彼らのおかげです。

おいしいご飯を、 でっかい夕日と

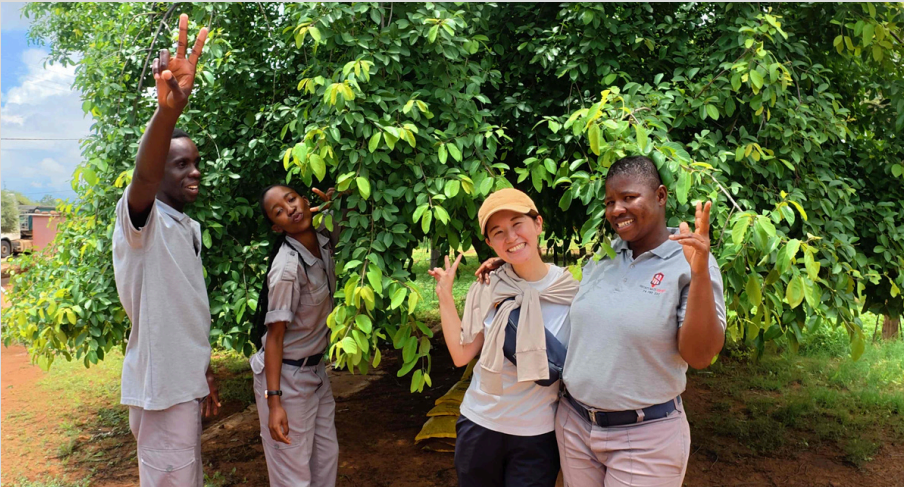


メイズ(トウモロコシの粉)、肉、芋、米、マカロニを使った料理が多いです。この日は、ほうれん草、フライドチキン、コールスロー、スタンプ(右手前にある芋をつぶしたもの)、そしてシチューをかけたメニューでした。塩コショウやシチューで味付けするのが主流です。



お祭り名物、大きなポット

イベントで必ず目にする大きなポット。主な流れは、「午前スタート→昼に終了→ランチ」が多いです。たくさんの大きなポットが並べられ、木の棒でまぜまぜ。両手でやっと動かせるくらい重いです。時には、その場でヤギを捌いて料理していることもあります。新鮮!!汗



活動のひとこま

学校で環境教育を行っています。最初の授業では日本の紹介もしているのですが、驚いたのは、雪を知っている生徒がたくさんいることです。ポケモンはほとんどの子が知っており、本屋では日本の漫画も見かけます。季節や着物、料理の写真を紹介すると、キラキラした笑顔を見せてくれます。

